

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	健康安全確保のための研究費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民生活を取り巻く医薬品、食品、その他生活環境中に存在する化学物質について、その品質、安全性及び有効性を正しく評価するための試験・研究・調査を行うことにより、健康に対する被害を防止し、国民生活の安全を確保することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年度は、①安全安心次世代医療機器事業②高機能性製剤の開発、承認審査の促進のための研究③医薬品による重篤な有害事象の発現に関連するバイオマーカーの研究④毒性オミクスの大規模高精度データを遅滞なく行政・国民へ還元・有効利用するための整備研究⑤健康食品等による健康被害防止に必要な標準物質(標品)の整備と分析に関する研究⑥国際的動向に対応する新規安全性試験法およびその評価手法の開発⑦ナノマテリアルの潜在的慢性健康影響の評価手法確立に関する研究⑧食品中のウイルスの高感度迅速試験法およびマネジメント手法の標準化に関する研究⑨新世代ポストゲノム創薬による革新的医薬品の品質安全性評価技術の構築、について実施したところである。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	179	179	175	171	113	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	179	179	175	171	113		
	執行額	179	177	175				
執行率(%)	100%	99%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	各研究課題の実施を通して、国民生活の安全を確保することが目的であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	研究課題数		活動実績(当初見込み)	課題数	8	9	9	—
							( 9 )	
単位当たりコスト	—		算出根拠	各研究課題毎に研究に必要な経費は異なっており、単純に1課題あたりの平均額から費用対効果を測ることは適当ではない。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	2	0.6	研究課題の見直し等による減				
	職員旅費	0.9	0.4					
	委員等旅費	0.8	0.8					
	試験研究費	168	111					
計	171	113						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国民の健康安全を確保するために必要な研究であり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国民の健康被害を防止し、国民生活の安全を確保することを目的に行う事業であるため、国において実施することが適当である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	研究機器の賃貸借について、動作環境の互換性を維持する必要から当該業者以外には行うことができないため、随意契約を締結した。なお、賃貸借期間終了後、新規の機器をリースする場合には、一般競争入札を実施し、競争性を確保する。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	研究成果は国による基準等策定の科学的根拠として活用され、国民の健康安全の確保に寄与している。
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>各研究課題については、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づき、所内研究開発課題評価委員会において研究課題の評価を行っており、研究の効果的な実施に努めている。</li> <li>執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</li> </ul>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	本事業は、医薬品食品、化学物質の研究に必要な経費であるが、執行状況及び事業計画を見直し、必要な予算計上とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費等の見直しを行った。 (反映額: ▲9.9百万円)		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	592	平成23年行政事業レビュー	539

※平成23年度実績を記入

国立医薬品食品衛生研究所  
175百万円

F 事務費 118百万円

〔 備品、消耗品、職員旅費、通  
信運搬費、賃金等 〕

【随意契約】

A 民間企業(2社)  
21百万円

〔 研究機器の賃貸借 〕

【一般競争入札・随意契約】

B 民間企業(9社)  
12百万円

〔 研究機器の保守、修理 〕

【一般競争入札・随意契約】

C 民間企業(6社)  
15百万円

〔 研究図書等の購入 〕

【一般競争入札・随意契約】

D WDB(株)  
7百万円

〔 人材派遣業務 〕

E 協力者  
2百万円

〔 生体試料提供を伴う研究協  
力等に対する謝金 〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.NTTファイナンス(株)			E.個人A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	研究機器の賃貸借	18	謝金	JaCVAM評価会議等への出席に対する謝金	0.08
計		18	計		0.08
B.アジレント・テクノロジー(株)			F.非常勤職員		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	研究機器の保守	5	賃金	非常勤職員給与	38
計		5	計		38
C.Elsevier B. V.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	電子ジャーナル購読料	6			
計		6	計		0
D.WDB(株)			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	人材派遣業務	7			
計		7	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTファイナンス(株)	研究機器の賃貸借	18	随意契約	
2	日立キャピタル(株)	研究機器の賃貸借	3	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジレント・テクノロジー(株)	研究機器の保守業務	5	1	100%
2	(株)バイオテックラボ	研究機器の保守業務	4	1	100%
3	島津サイエンス東日本(株)	研究機器の修理業務	2	2	99.4%
4	(株)池田理化	研究機器の修理業務	0.3	随意契約	
5	尾崎理化(株)	研究機器の修理業務	0.2	随意契約	
6	(株)エムアールテクノロジー	研究機器の修理業務	0.2	随意契約	
7	オリンパスメディカルサイエンス販売(株)	研究機器の修理業務	0.1	随意契約	
8	(有)アルバーネット	研究機器の修理業務	0.1	随意契約	
9	岩井化学薬品(株)	研究機器の修理業務	0.1	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Elsevier B. V.	電子ジャーナル購読料	6	1	100%
2	(株)紀伊国屋書店	外国雑誌購入	2	4	81.0%
			2	4	90.1%
			1	4	83.0%
			0.3	随意契約	
3	ユサコ(株)	外国雑誌購入	3	4	86.9%
			0.2	4	82.4%
			0.1	随意契約	
4	丸善(株)	外国雑誌購入	1	随意契約	
5	アカデミア洋書(株)	外国雑誌購入	0.1	随意契約	
6	(株)有隣堂	外国雑誌購入	0.1	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	人材派遣業務	6	1	78.2%
			1	1	75.8%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	JaCVAM評価会議等への出席	0.08		
2	個人B	インフォームド・コンセントの取得履行補助、採血、診療情報入力	0.08		
3	個人C	JaCVAM評価会議等への出席	0.07		
4	個人D	JaCVAM評価会議等への出席	0.06		
5	個人E	JaCVAM評価会議等への出席	0.05		
6	個人F	JaCVAM評価会議等への出席	0.05		
7	個人G	JaCVAM評価会議等への出席	0.04		
8	個人H	インフォームド・コンセントの取得履行補助、採血、診療情報入力	0.03		
9	個人I	JaCVAM評価会議等への出席	0.02		
9	個人J	JaCVAM評価会議等への出席	0.02		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	研究及び事務補助業務	38		
2	岩井化学薬品(株)	研究用消耗品等の購入	9	随意契約	
3	(株)千代田テクノ	放射線管理業務	8	1	91.1%
		ガラスバッジ検査料及び消耗品の購入	0.4	随意契約	
4	理科研(株)	研究用消耗品の購入	5	3	100%
5	昭光サイエンティフィック(株)	研究用備品の購入	4	1	96.7%
6	(株)バイオテック・ラボ	研究用備品等の購入	4	随意契約	
7	(株)池田理化	研究用消耗品等の購入	3	随意契約	
8	(株)高長	研究用備品の購入	3	2	94.6%
9	(株)和科盛商会	研究用消耗品の購入	3	随意契約	
10	(株)伊藤サプライ	研究用備品等の購入	3	随意契約	